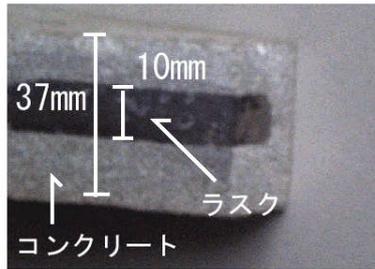


防振コンクリート

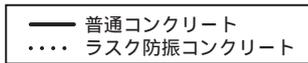
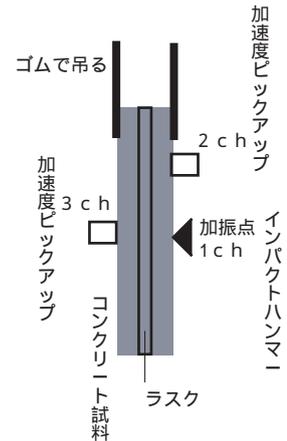
コンクリートは、一般的に高層の建物や高速道路、新幹線などの高架橋に多く使用されている。このようなコンクリートの骨材の変わりにラスクを用いる（複合化する）と、ここに掲げているような伝達関数のように元のコンクリートよりも振動減衰量が高くなる。

そのため、コンクリートの遮音効果が大きくなる。また、振動応力の吸収性も向上しコンクリートの振動による疲労も軽減する。ヘアークラックの入り方も少なくなりコンクリートとしての寿命が伸び、震災時のような急激な応力に対しても効果を発揮する。

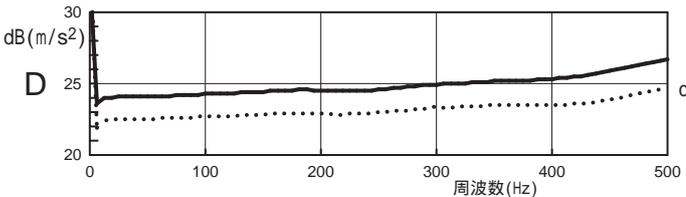
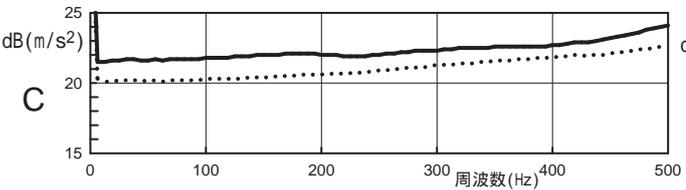
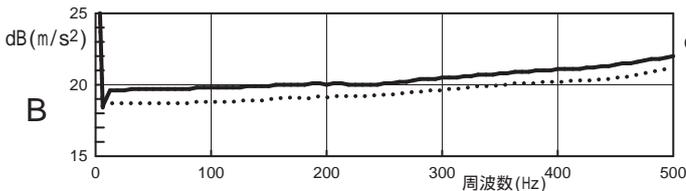
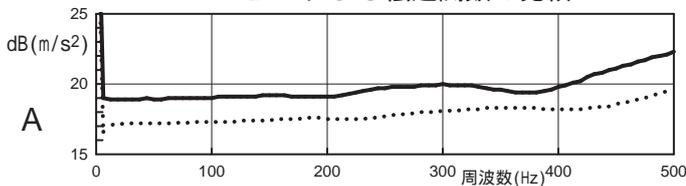
コンクリート試料寸法 (mm)	ラスク寸法 (mm)
A : 275 × 50 × 40	275 × 50 × 10
B : 230 × 50 × 40	230 × 50 × 10
C : 195 × 50 × 40	195 × 50 × 10
D : 155 × 50 × 40	155 × 50 × 10



試料D



1chと2chによる伝達関数の比較



1chと3chによる伝達関数の比較

